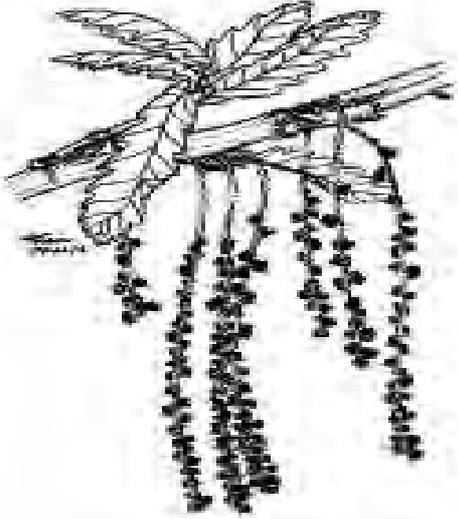


樹木だより

カシワの雄花



天塩の海岸砂丘へ、子供をつれて、ワラビ採りに行った。古砂丘は土壌的に栄養に乏しいらしく、やせワラビが多かった。クマイザサも矮性で膝丈までしかなく、歩きやすくて、砂丘の上に利尻岳が望まれた。この砂丘には、海風に刈込まれた、丈低いシワ林が存在して、根元から多数の幹を叢生させている。腰をかがめて密生した可愛い葉群の下に、繩のれんのように、雄花（尾状花序）が垂れ下がっていた。軽く触れると、黄色い花粉が林床にこぼれた。そこには、スズランが開花していた。

（道北分場 斎藤新一郎）